

HIを支える白衣の力  
第9回 手稲溪仁会病院

HI(Hospital Identity)は、病院の文化や特性・独自性を高めるうえで重要な、ブランディング戦略です。そのHIを高めるために白衣がどのような力を発揮するか。この連載では、デザイン性だけではない白衣へのこだわりをお伝えしていきます。



白衣を「環境の一部」とする発想のもとセレクトされたユニフォーム。「患者さんからどう見えるか」「スタッフの希望」を検討して採用

ユニフォームも「環境」の1つの要素  
多様でナチュラルな色で、病院の特色も表現

今回は、患者さん目線で見え方を検討した結果のカラーリングと、実務にあたるスタッフの希望の双方を反映した「アースカラー」のユニフォームを採用した手稲溪仁会病院にて、田中いずみ看護部長にお話をうかがいました。



田中いずみ 看護部長

患者さんにとっても目にやさしいものを。1つの答えとなった「アースカラー」

当院でユニフォームを新しく導入するにあたり、「白衣も環境の一部である」というコンセプトを大切にしました。患者さんの目線からも病院の環境について考えた際、やはり視覚的にもやさしい印象があったほうがよいだろうと考えま

した。

今回は、ユニフォームの色合いが病棟やナースステーションなどの「空間」において圧迫感などなく、しっかりと癒やしの効果をもつことを想定しました。そこで選ばれたのが「アースカラー」のユニフォームでした。当院では、写真に見られるような木目調の内装のほか、シンプルな白い内装の部分もあります。アースカラーの色味は、いずれにおいてもしっかり活きているのではないかと思います。

現場スタッフからの多様な希望は、「この病院らしさ」にもつながった

これまで、看護部のユニフォームについては管理職の会議などで検討・決定することが多かったのですが、今回は「(病棟で実際にユニフォームを着る)スタッフ自らに決めてもらいたい」という考えがありました。事前に行ったアンケートからも、年齢や性別、体格といった要素によって、希望が多様であることがわかりました。こうしたことも尊重し、スタッフには好きなカラーを選んでもらっています。

当初は、「多くのカラーが混在していると視覚的にぎやかすぎるのではないか」という懸念もありました。しかし実際には、ナチュラルで落ちついたイメージとなり、「アースカラー」というコンセプトによって統一感を得ることができたと感じています。

スタッフそれぞれの希望を尊重した結果、見た目にも多様性が生まれましたが、これもまた当院らしい自由な雰囲気をよく表していると思います。

どのカラーも違和感なく着用できる  
アースカラーの強みが活かした評価に

新しいユニフォームはスタッフ間でも高い評価を得ています。アースカラーは誰が着ても落ちついた印象になり、男性スタッフからも「ピンクのユニフォームを男性が着ても違和感がない」との声を聞いています。どのカラーを選ぶかは枚数も含めて自由です。最初に一部のカラーだけ選んだスタッフも、「働いているうちに、他のカラーもあるとよいと感じるようになった」と語っています。

なお看護職のユニフォームには、左側の袖にマークが付いています。多様なカラーラインナップを着用するなかでも「看護職であること」「手稲溪仁会のスタッフであること」がはっきりとわかるようになっています。



落ちついた印象のアースカラーで、病棟の雰囲気もやわらかなものになった



ユニフォームについてはすべてスタッフの自主性に任せており、多くのカラーが見られることが日常に



看護業務に必要なさまざまな動きにも対応する動きやすさがあり、機能面でも高評価を得ている

採用商品：アースソングシリーズ RF-5472、RF-5502



手稲溪仁会病院

1987年開院。現在の許可病床数670床。札幌市手稲区域の地域医療支援病院として、地域住民や地域の医療機関などとのよりよい関係構築に向けて体制づくりに取り組んでいる。また現在は地域の中核病院として、急性期総合医療・専門医療を担うことをめざしている。上記の地域医療支援病院のほか、日本医療機能評価機構認定病院、ISO9001、臨床研修病院などの認証・認定を受けている。理念として「患者主体の医療に徹する」ということをトップに掲げ、患者さんの意思の尊重やわかりやすい情報提供などを心がけている。  
〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12-1-40  
<https://www.keijinkai.com/teine/>

ナガイレーベン株式会社

TEL : 03-5289-7891  
E-mail : [hp-info@nagaiben.co.jp](mailto:hp-info@nagaiben.co.jp)  
ホームページ : <https://www.nagaiben.co.jp>